

令和7年度第2回鎌ケ谷市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和7年11月20日（木）
午後2時00分～午後3時05分
- 2 開催場所 きらり鎌ケ谷市民会館 3階 中央公民館 集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 菅井 洋子委員 片山 ふみ委員 渡邊みどり委員
佐藤 克己委員 吉岡 篤委員 滝本はる恵委員
佐藤るみ子委員 齊藤日出雄委員 大貫 和泉委員
谷口 智委員
 - (2) 市側 (事務局) 平野生涯学習推進課長 斉藤図書館長
谷口館長代理 森副主幹 田中
 - (3) 傍聴人 なし

4 鎌ケ谷市図書館協議会 報告

①「令和6年度図書館利用者アンケート」集計結果について

②「先進館視察」について

菅井委員長が鎌ケ谷市図書館協議会運営規則第3条の規定により議事を進行する。

その中で、会議録署名委員は、名簿順に2人を選出、今回は滝本委員と佐藤るみ子委員に決定した。

議長 報告の1点目「令和6年度図書館利用者アンケート」集計結果について、事務局より説明願います。

事務局 「令和6年度図書館利用者アンケート」集計結果に基づき内容を説明。

議長 ただ今の説明を受けて、ご意見、ご質問があればお願いします。

委員 図書館の改修工事に伴って、館内のレイアウトを変更すると思われるが、そのリニューアルについて、どのように周知していくのか。アンケートの対象者は図書館の利用者であると思うが、

普段、図書館を利用しない市民、特に未来を担ってくれる小中校生に対しては、どのようにアプローチしていくのか。

事務局 周知方法としては、12月15日号の「広報かまがや」で外壁や窓枠など外観的なリニューアルと館内レイアウトのリニューアルについて広報していく予定となっております。

委員 全市民に対してのアプローチとして広報は有効であると思われるが、小中校生が対象であるならば、ターゲットをしばって直接、学校へ手紙などで知らせる方がコスト的にも良いのでは。

事務局 図書館としても定期的に学校図書館司書および司書教諭の方々との会議の場を設けて意見交換や情報共有しております。リニューアルの件も直近では9月に会議を行っており、そこでお知らせしております。引き続き学校との連携を密にして小中校生にアプローチしてまいります。

委員 駐車場の拡大、国道464号線から図書館入り口までの安全対策と自由記述に記載しているが、歩行者だけではなく、車両の利用者が駐車場から道路に出づらい。これは何とかならないだろうか。また、初富駅からのアクセスに関する要望があると記されているが、実現できないのはどのような課題があるのか。

事務局 車両の安全対策という面では、図書館前面の駐車場整備によりまして、出入口が広くなり見通しも良くなるので今までよりは出やすくなるものと考えられます。また、従前1.25メートルの歩道も、倍の2.5メートルになり歩行者の安全対策も図られるようになりました。

初富駅からのアクセス道路については、隣接する民家の方々の私道路であるため、一般の方々の通行を認めていただけるのか、市の道路管理部門で意向調査を実施したと聞いておりますが、現時点で回答は届いていない状況とのことでございました。

委員 シニア向けサービスの拡大という項目があるが、実際にどのような施策を展開しているのか。

事務局 具体的にどのような事業を計画するかまでには至っておりませんが、数年前から行っている音読講座などは、シニア世代に対する脳の活性化や読書活動の推進を目的に行っております。

例えば高齢者施設とのコラボレーションで実施できる事業等を検討してまいりたいと考えております。

議長 他にご質問はございますか。無いようですので報告の1点目

については終了いたします。次に報告の２点目「先進館視察」について、視察に参加された大貫委員より報告願います。

委 員 — 「大貫委員より視察研修について報告」 —

議 長 大貫委員、ありがとうございました。

視察結果について追加の説明はありますか。

委 員 — 「渡邊委員より[データベースサービス]と[電子図書館]に対する追加説明」 —

議 長 ありがとうございました。

その他、視察に関する所感などありましたら、委員の皆様のご発言をお願いします。

委 員 電子図書は利用者に求められているのだろうか。

アンケート結果をみても要望は多くはない。

今、求められているのは一般図書ではないか。

八千代中央図書館は施設として素晴らしいと思う。各エリアの配置なども優れている。しかし最寄り駅から遠いことが難点である。高齢者の利用状況をみると、若者に比べて少ない。

我孫子の図書館も駅から遠く、高齢者の利用は少なかった。

習志野の図書館は駅前に立地しており、高齢者の利用が多くみられた。鎌ケ谷市立図書館本館も駅から近く、高齢者の利用が多い。それは八千代中央図書館に比べて鎌ケ谷市立図書館の利点であると思われる。

ただ、八千代中央図書館は、各エリアに区分けして静かに過ごす場所、話し合いをできる場所と特色をわけていることが素晴らしい。図書館は静かに利用する場所というだけでなく、仲間とディスカッションしながら学ぶということも大事。

委 員 電子図書館について、アンケートでは要望が少なかったようだが、図書館利用者に対するアンケート結果であり、図書館を利用していない市民に問いかければ必要と答えるかもしれない。その人達を対象にアンケートをすれば、電子図書があるなら、図書館を利用すると回答するかもしれない。

八千代中央図書館では、電子図書館のランニングコストが年間２８０万円となっているが、経費としては高いのか。

事務局 鎌ケ谷市の図書購入予算は今年度１，０００万円ですので、予算に占める比率は高いと思われます。

委 員 予算の４分の１以上というのはかなり高い。これは運営費であり、コンテンツ代金は別に必要となってくる。導入するにあた

っては目的を定めて慎重に検討すべき。

委員 電子書籍のメリットとして、画面を大きくできたり、読み上げ機能を使えたりとシニア向けとして有効。先ほどのシニア向けサービスの拡大にもつながるのでは。図書館に来館するのが困難な方やY A世代の獲得にも有効である。

委員 電子書籍のコンテンツの種類や数量が少ないという話がある。八千代中央図書館でもマップガイドや図鑑などがお薦めで、一般書籍は少ないということが疑問。

委員 T R Cなど書店側がプラットフォームを作成しているため、検索方法についても一般書籍と電子書籍は別々に検索することになり、利便性は良くない。

委員 一般書籍と電子書籍との棲み分けをどのように設計していくのか。それが問題点。

委員 電子書籍にしかないコンテンツもあり、それぞれのニーズにより一般書籍と電子書籍を区分しなければならない。

委員 八千代中央図書館の良いところとして、子育て世代に対するアプローチと小学生のグループ学習室があって、声を出しながら学習ができることが素晴らしい。本を読むだけでなく、その他の要素で図書館に行きたくなることが良い。

委員 学校の図書館も、本だけを読む場ではなく、グループ学習や講師を招いて学習会を開催したりしている。

管轄がそれぞれ違うかもしれないが、市内の公共施設すべてで学習の場を設定してあげれば良い。利用する方達には場所はどこでも勉強ができれば良いわけだから。

事務局 図書館本館は従来から学習室が併設されております。館内の工事終了後は、参考資料室にY Aコーナーを設置して中高生がグループ学習などで活用できるようにレイアウトの変更を行っております。

委員 市民サービスを目的とするなら、管轄の違いなどは無視してどの施設であっても読書や学習ができるようになれば、図書館の在り方も変わってくる。手続きも簡単にしてほしい。

事務局 鎌ヶ谷市は市域面積が小さいわりに施設の数、他市と比較して多いと思われます。利用される方も施設の特性に合わせて静かに学習する所、グループで意見交換をするなど、ある程度は声を出しても良い所というように使い分けをしているのではないかと考えられます。

施設側としても利用者の動向を把握して、声掛けなどしながら利用目的に沿った活用をしていただければと考えています。

議 長 他にご意見はございますか。

先進館視察の報告の中から、鎌ヶ谷市が直面する問題点など真摯な話し合いができたと思います。

それでは報告の２点目については終了いたします。

その他ということで、何かございますか。

事務局 まず、滝本はる恵委員が市政功労表彰を受賞されましたので、そのご報告をいたします。

続きまして、次回の第３回鎌ヶ谷市図書館協議会では、「令和８年度図書館運営方針(案)」並びに「令和８年度事業計画(案)」についてお諮りしたいと考えております。

よろしくお願いいたします。

議 長 ありがとうございます。

それでは、本日の協議会を終了いたします。

次回の図書館協議会は、年が明けて２月５日の木曜日午後２時から実施する予定となっております。

日程等の調整が整いしだい、委員の皆様にご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

事務局には、開催日の１か月前までに通知を発送できるよう準備をお願いします。

それでは、以上をもちまして本日の図書館協議会を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和8年1月6日

署名人 滝本 はる恵 印

署名人 佐藤 るみ子 印